

実施内容報告書

| | | | |
|-------|-------------|------|-------------------|
| 支援先施設 | 公立小野町地方総合病院 | 実施分野 | 認知症看護 |
| 認定看護師 | 高橋 麻美 | 所属施設 | 独立行政法人国立病院機構 福島病院 |

目 標

- ・認知症ケアの基本、対応方法がわかる
- ・身体拘束と倫理について理解を深める(身体拘束率19.7%→14%目標)
- ・個別性のある看護計画の立案と実践、評価、修正ができる

実施内容

| 回数 訪問日 | 実施内容 | 研修会テーマ | ①支援内容 ②アンケートの意見等 |
|--------------------|---|-------------------------|---|
| 第1回 7/11 (火) | ・打ち合せ ・病棟ラウンド ・認知症ケアカンファレンス ・研修会 ・次回打合せ | 「認知症について」 参加者 23名 | ①研修で支援目標と期待することを伝えた。 また、認知症に対する偏ったイメージを少しでも払拭できるよう、認知症疾患の症状や治療、アセスメント方法を伝えた。 ②基本的なことであり理解できた。説明がわかりやすかった。 |
| 第2回 8/8 (火) | ・打ち合せ ・病棟ラウンド ・認知症ケアカンファレンス ・研修会 ・次回打合せ | 「認知症看護のポイント」 参加者 26名 | ①行動・心理症状に対しての対応方法や、ユマニチュードについて説明をした。 行動心理症状は認知症の方のSOSメッセージであるということ伝えた。 ユマニチュードは関心が高く興味深く聴講していた。 ②日々の実践に活かせる内容だった。関わり方で患者の反応も変わってくるのが理解できた。 |
| 第3回 9/5 (火) | ・打ち合せ ・病棟ラウンド ・認知症ケアカンファレンス ・研修会 ・次回打合せ | 「せん妄ケア」 参加者 12名 | ①せん妄のタイプを理解し、低活動型せん妄やうつのアセスメントの方法やケアについて説明した。低活動型せん妄があまり知られていないことが分かった。 ②せん妄の種類など、気づかない部分があった。理解が深まった。 |
| 第4回 10/3 (火) | ・打ち合せ ・病棟ラウンド ・認知症ケアカンファレンス ・研修会 ・認知症ケアマニュアルについて打合せ ・次回打合せ | 身体拘束の弊害と看護」 参加者 12名 | ①身体拘束の弊害や代替案を事例を用い説明した。 持てる力を失わないような関わりが必要であることを伝えた。病棟で、身体拘束解除に向けたカンファレンスを行い1件身体拘束解除をした。 ②一人ではできないためチームで取り組む必要がある。一人一人の意識づけが必要である。 |